

# 授業に必要なICTシステムの概要

---

情報基盤センター 田浦健次郎

# 授業関連ICTシステム概要

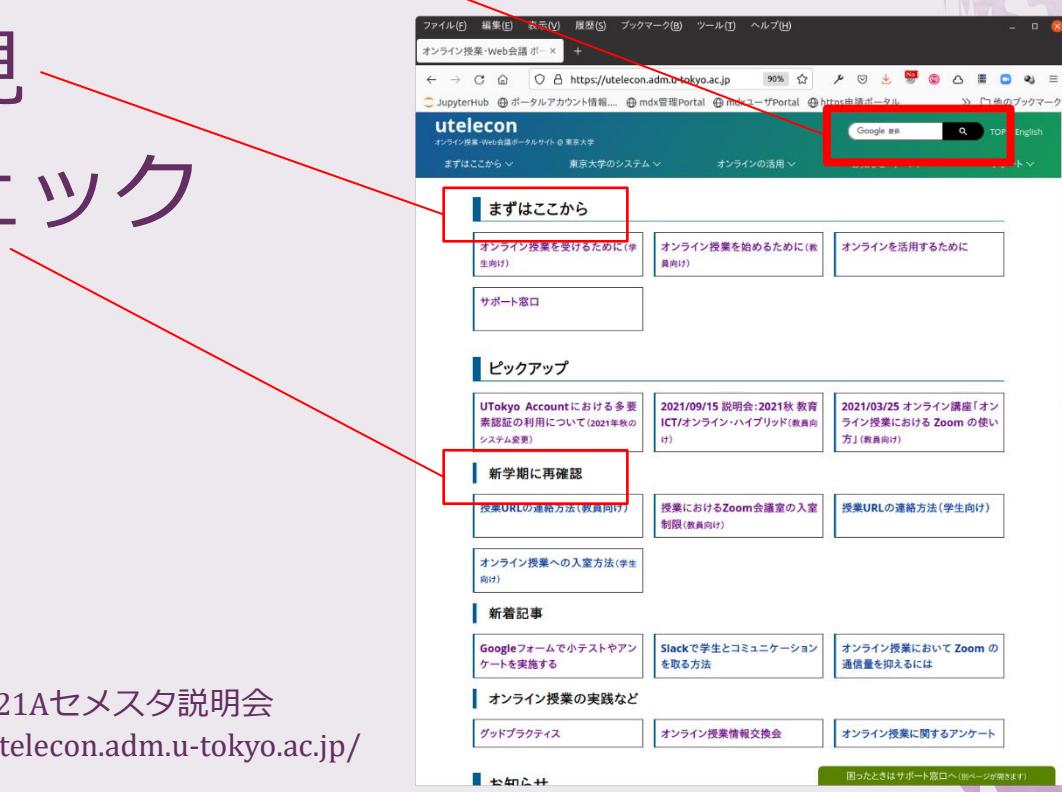
- ◆ Google以外はUTokyo Accountだけで使える
- ◆ = 認証の統一・連携（シングルサインオン、Single Sign-On, SSO）



# 疑問?

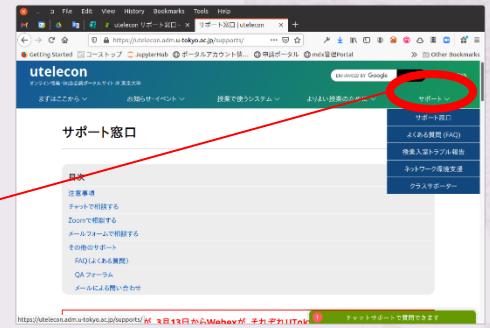
⇒まずはuteleconをご覧ください

- ◆ 様々な情報を <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>へ集約しています
- ◆ あれどうすんだっけ?は検索ボックスで
- ◆ 初めての先生必見
- ◆ 学期開始前にチェック



# 質問? サポート窓口

- ◆ チャット, Zoom, メール送信フォームで質問できます
- ◆ 学生サポートが活躍しています
  - ◆ 内容上, 学生への相談が適切でない場合, フォームで「教職員による対応希望」にチェック

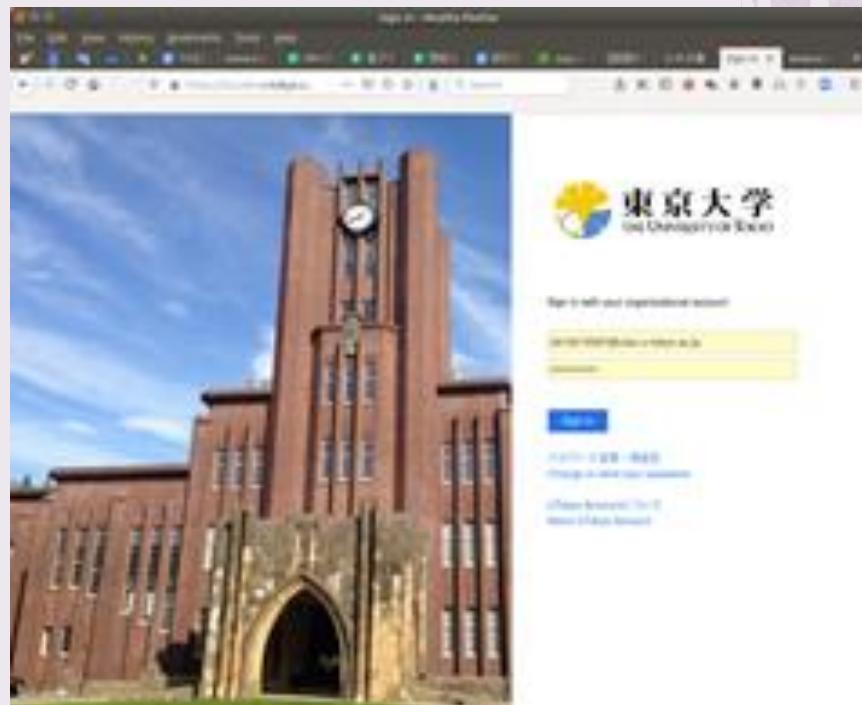


# 以降の内容

- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTASとITC-LMS (柴山)
- ◆ Microsoft 365とGoogle Workspace
- ◆ ZoomとWebEx
- ◆ Sli.do  new

# UTokyo Account

- ◆ 「はじめにUTokyo Accountありき」
- ◆ どこかにサインインしようとしてこの画面になつたらそれはUTokyo Accountでサインイン（SSO）しようとしている印
- ◆ 通称「安田講堂」
  - ◆ — 画面
  - ◆ — に飛ばされる
  - ◆ スマホだと安田講堂の絵は出ませんが



# UTokyo Accountの正体(1)

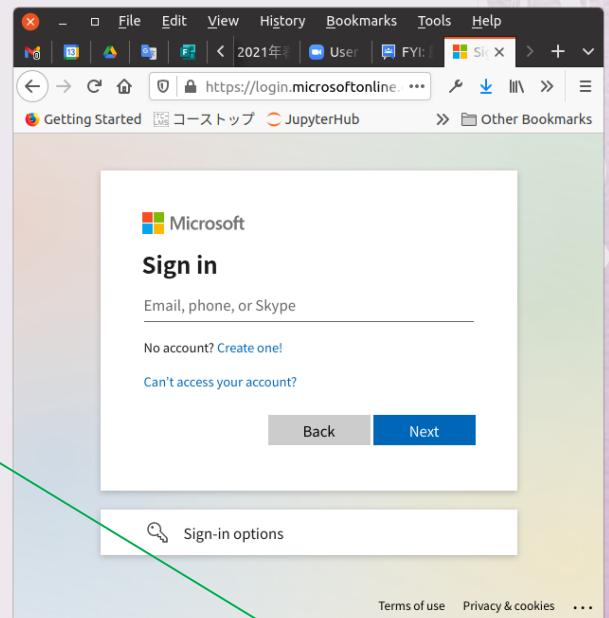
## ◆ 数字10桁です

- ◆ 2519285617 みたいな
- ◆ 10桁は常勤教職員の場合、職員証に書かれています



# UTokyo Accountの正体(2)

- ◆ 実は正式には
  - ◆ 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
- ◆ @以降が必要なとき
  - ◆ Microsoftのような、「東大外も対象のサービス」にサインインするときのように「自分は東大のアカウントを使います」と明示しなくてはならないとき



ちなみにutokyo accountの略

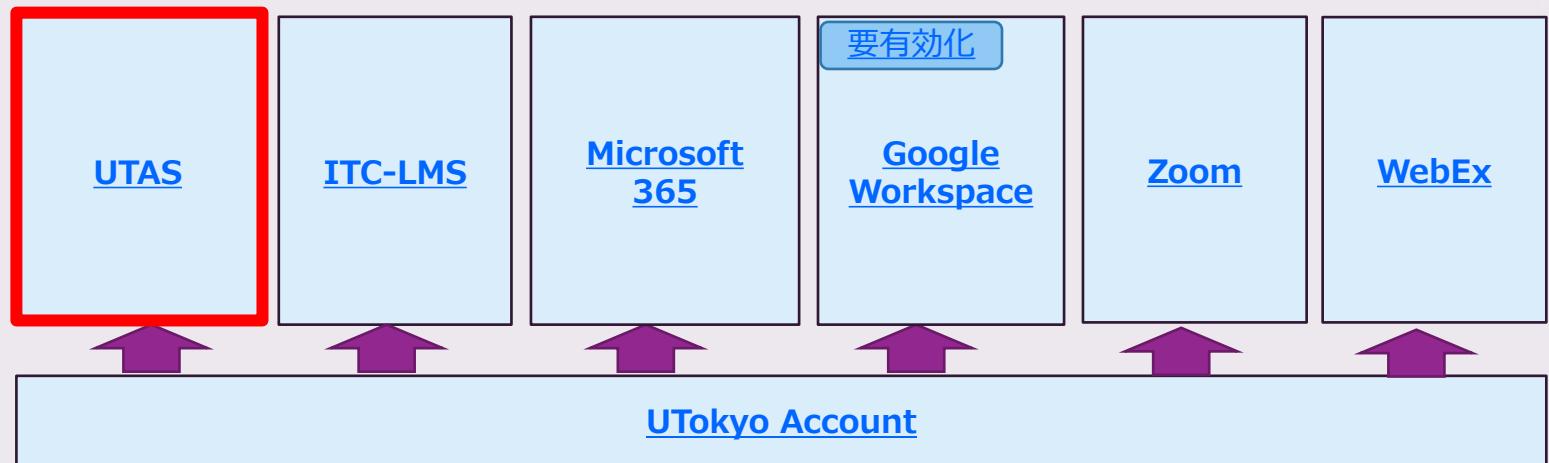
# 非常勤の場合

- ◆ 常勤・非常勤問わず、授業に必要ならば割り当てるのが基本です
- ◆ 非常勤（又はアレンジご担当）の先生へ：必要なのに割り当てられていないということがあつたら、事務へご連絡ください
  - ◆ 必要な例：シラバス登録、成績をつける、LMSで課題を出す、Zoom授業をホストする、etc.
  - ◆ 不必要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- ◆ 専攻・部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

# 新入生への発行

- ◆ 研究科・専攻事務の皆様
  - ◆ 秋学期からの新入生がUTAS, ITC-LMS, Zoomなどの利用準備ができるよう、 UTokyo Account の早めの発行と通知をお願いします

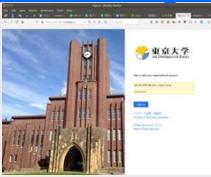
# UTAS





# UTAS

- ◆ 学務システム
- ◆ ログイン
  - ◆ <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>
  - ◆ UTokyo Account
- ◆ 教員
  - ◆ シラバス登録
  - ◆ 成績登録
- ◆ 学生
  - ◆ シラバス検索・閲覧
  - ◆ 履修登録
  - ◆ 成績確認



The screenshot shows the UTAS homepage in Mozilla Firefox. The top navigation bar includes File, Edit, View, History, Bookmarks, Tools, and Help. The address bar shows the URL https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/. The main content area features the UTAS logo and a navigation menu with links to HOME, 学生情報 (Student Information), カリキュラム (Curriculum), 肉修 (Academic Record), 成績・定期試験 (Grades/Exams), 休補・スケジュール (Scheduling), シラバス (Syllabus), アンケート (Survey), 告示 (Announcements), その他 (Others), and LMS. On the left, there are two boxes: 'お知らせ' (Announcements) and 'FAQ'. The 'お知らせ' box contains a message about emergency information and a notice about automatic logout. The 'FAQ' box contains a link to disaster information. The central part of the page shows a weekly calendar for March 2020, indicating no scheduled events for the week of March 13-19. At the bottom, there is a 'よく使うメニュー' (常用メニュー) section with links to Student Information Reference and Personal Grade Reference.

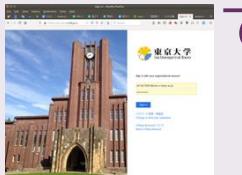
# ITC-LMS





# ITC-LMS

- ◆ 学習管理システム
- ◆ ログイン
  - ◆ <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>
  - ◆ UTokyo Account で
- ◆ 機能
  - ◆ 出席管理
  - ◆ 学生と教員、学生同士のやり取り
  - ◆ 課題を出してレポート回収
  - ◆ テスト
  - ◆ 授業URLを知らせる
- ◆ 詳しくはChapter 4 (柴山) で



The top screenshot shows the ITC-LMS Login page with a 'Login' button. The bottom screenshot shows a course schedule for the week of March 9, 2020. The schedule includes sessions for 'プログラミング言語' and '初年次ゼミナール理科'. The days of the week are listed as 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday), and 土 (Saturday). The schedule is organized by week number (1周 to 7周).

日付	月	火	水	木	金	土
2020年03月09日	2020年度 S1	2020年03月09日	2020年03月09日	2020年03月09日	2020年03月09日	2020年03月09日
1周						
2周	<b>プログラミング言語</b> 田浦 健次郎		<b>初年次ゼミナール理科</b> 田浦 健次郎			
3周						
4周						
5周						
6周						
7周						

2020年03月09日 AM3時 時点の内容です。  
体調情報等についてはUTASを参照してください。

# UTASとITC-LMSが両方あるのはわ かりにくいのでは?

- ◆ はい 
- ◆ 今のところは以下のような区別とお考え下さい...
- ◆ UTAS : 学期前、学期後の処理
  - ◆ シラバス登録、成績登録
- ◆ ITC-LMS : 学期（授業）中の支援
  - ◆ 出席、レポート回収、etc.
- ◆ 覚え方、方便であって分かれていることを正当化しているのではありません

# Microsoft 365





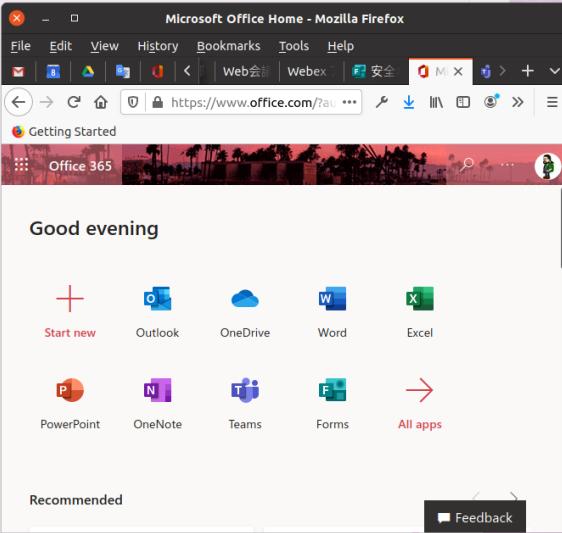
# Microsoft 365

## ◆ サインイン

- ◆ <https://www.office.com/>
- ◆ UTokyo AccountでSSO

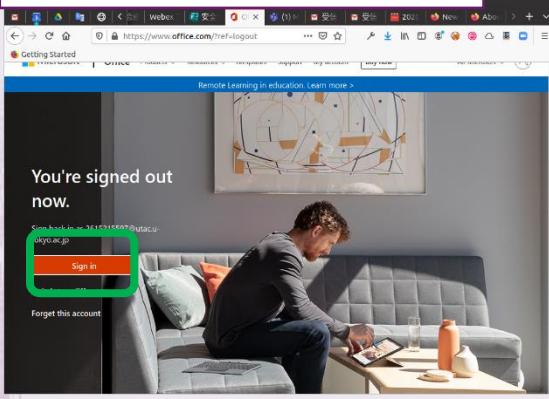
## ◆ 機能

- ◆ ファイル共有: OneDrive
- ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
- ◆ アンケート: Forms
- ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
- ◆ LMS的機能: Class Notebook



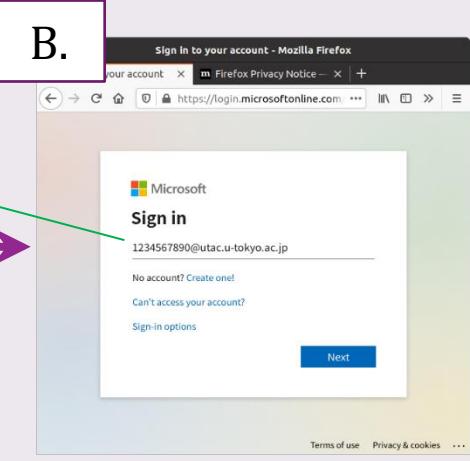
# Microsoftサインイン全パターン

A. (www.office.com)



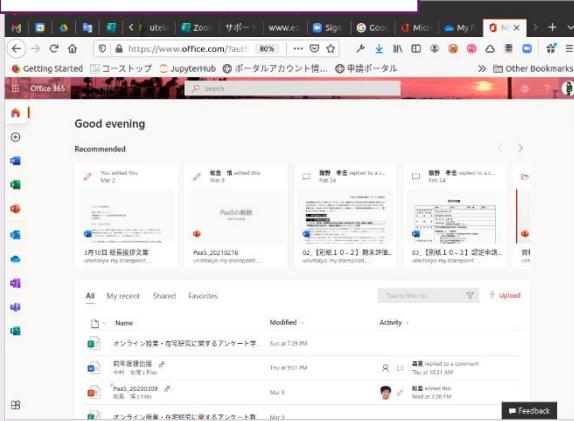
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属機関を明示)

B.



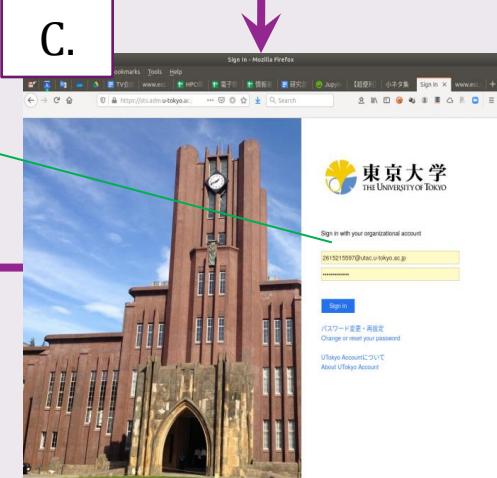
(状態によりB, Cがスキップ)

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

C.

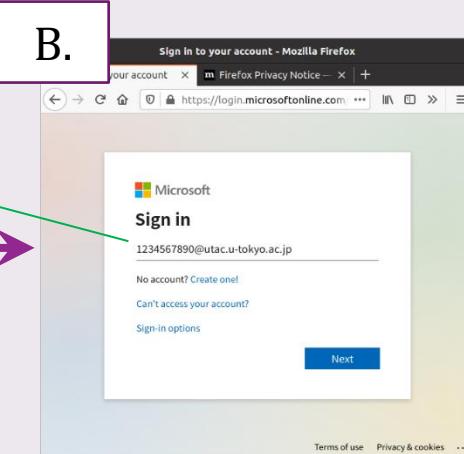


# Zoomでも似たパターンが出てきます これはSSOする際の共通パターン

A. スタート

入力: <https://目的ページ/>

入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属組織を明示)

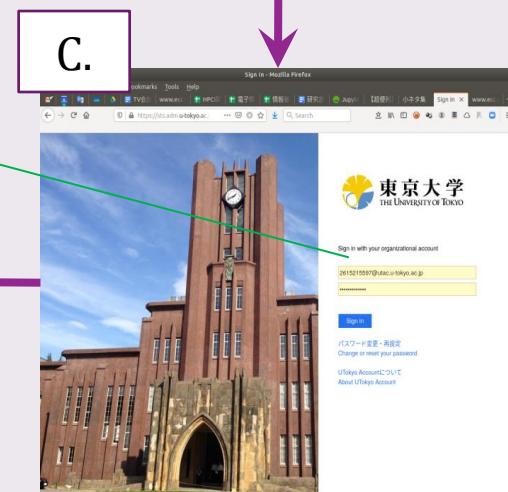


(状態によりB, Cがスキップ)

D. (sign in成功)

目的ページ

入力: UTokyo Account名、  
パスワード



# Google Workspace





# Google Workspace

- ◆ Google Workspace ≈ 組織契約するGoogleサービス
  - ◆ 旧称 G Suite
- ◆ 本学での呼び名 = ECCSクラウドメール
  - ◆ なんとか@g.ecc.u-tokyo.ac.jp というGoogleアカウント
  - ◆ メールだけではなく様々なアプリが含まれるので○○メールという呼び方はやや誤解を招く
- ◆ 有効化（初めての方）、パスワード変更
  - ◆ <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/#google>
- ◆ サインイン
  - ◆ 方法1: 普通のGoogleページでアカウント名 [xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)
  - ◆ 方法2: 専用サインインページ<https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>



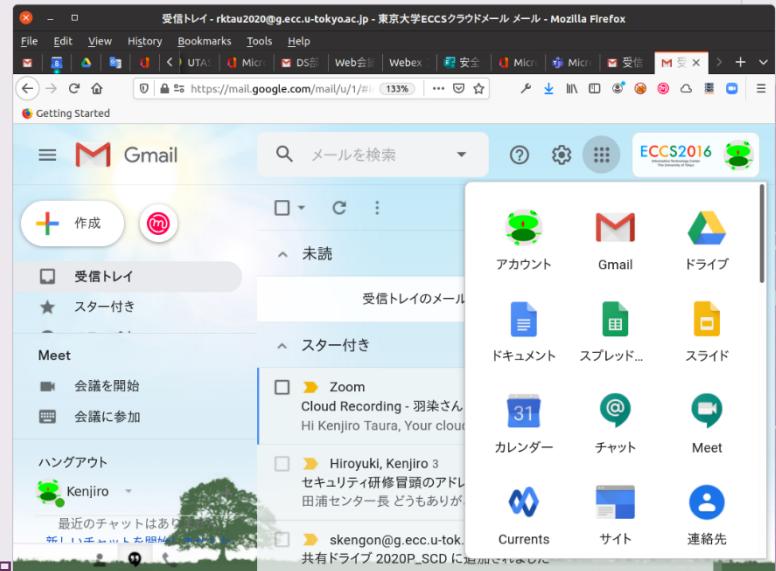
# Google Workspaceサインイン時の罠

- ◆ 有効化してから実際にサインイン可能になるまで  
少々 (**最大1時間**) お待ちください
  - ◆ 正確には、毎時 (00分) に有効化がGoogleのシステムに反映されます



# Google Workspace機能

- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom



# M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams (教職員のみ)	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ◆ 知つておくべき大きな違いはGoogleサービスが中国からアクセスできないこと

# MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有
- ◆ ファイル共有を安全に、うまく使えば授業以外の業務効率化もできます
  - ◆ 共有範囲
    - ◆ 特定の人を名指して共有
    - ◆ 組織内なら誰でも
    - ◆ 誰でも
  - ◆ 検索で見つかるか否か (Google)
  - ◆ ダウンロード可・不可

# GoogleもUTokyo Accountへ統合予定

- ◆ 12月ごろを予定しています
- ◆ Emailアドレスはこれまで通り自分で設定したもの（任意@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）が使えます
- ◆ Google用のパスワードが不要になります
- ◆ 有効化作業が不要になります

# Zoom

## ◆ サインイン方法3つ

- ◆ どれも意味的には同じことをやっています
- ◆ 方法1がどう見ても簡単ですが、どうなっても戸惑わないよう3パターン説明します



# Zoomサインイン方法1

- ◆ 東大用Zoomページ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile> にアクセス
  - ◆ 注：すでに別のアカウントでsign inしていたら一度sign outしてやり直し

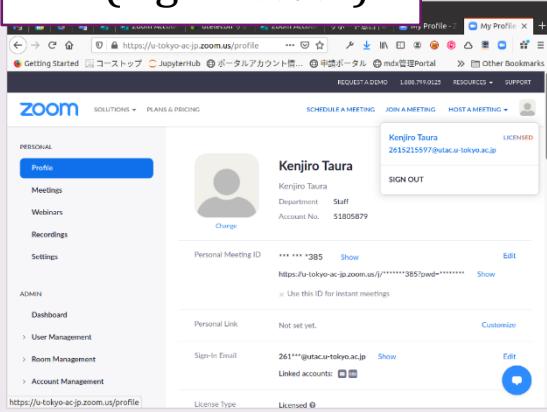
# サインイン方法1: 流れ

## A. スタート

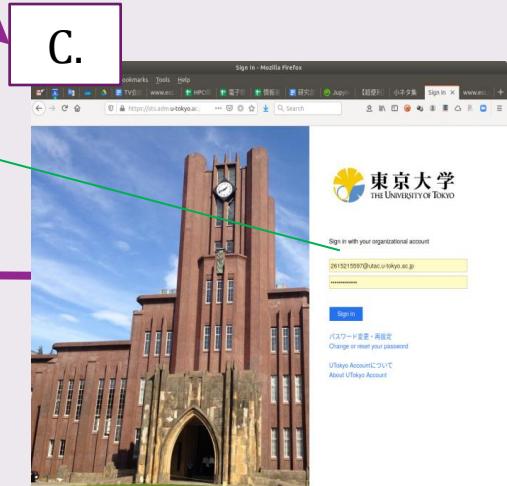
<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

(または <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/> → Configボタン)

## D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account  
名、パスワード

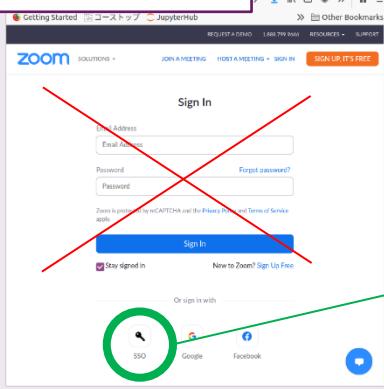


# サインイン方法2

- ◆ Zoomページ <https://zoom.us/> (→必要ならばいったんsign out) → sign in → ページ下部SSOを選択
- ◆ 「会社のドメイン」に u-tokyo-ac-jp 入力

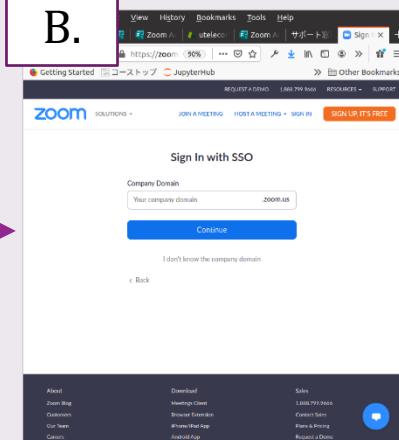
# サインイン方法2: 流れ

A. スタート



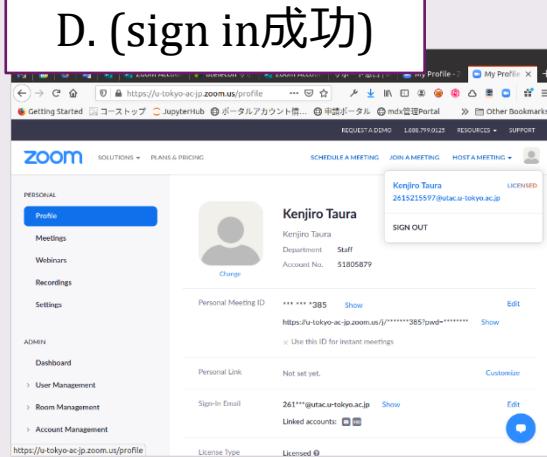
入力: 会社ドメインにu-tokyo-ac-jp  
(所属組織を明示)

B.



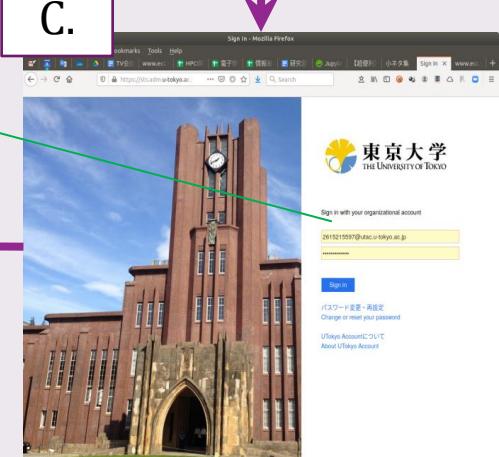
Zoom サインインページで  
SSOボタンを押す

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

C.

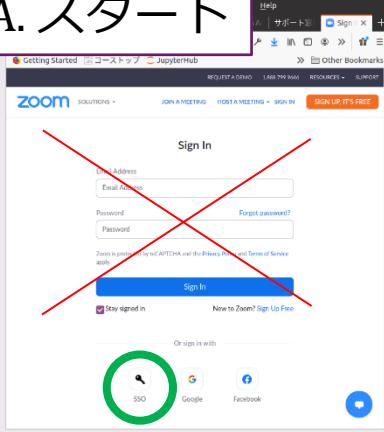


# サインイン方法3

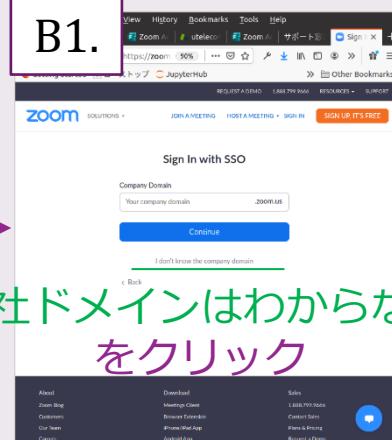
- ◆ 途中まで方法2と同じ
- ◆ 「会社のドメインを知らない」をクリック
- ◆ 「会社のEmail」に10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

# サインイン方法3: 流れ

A. スタート

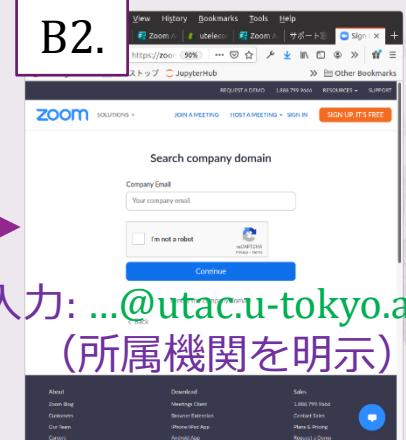


B1.



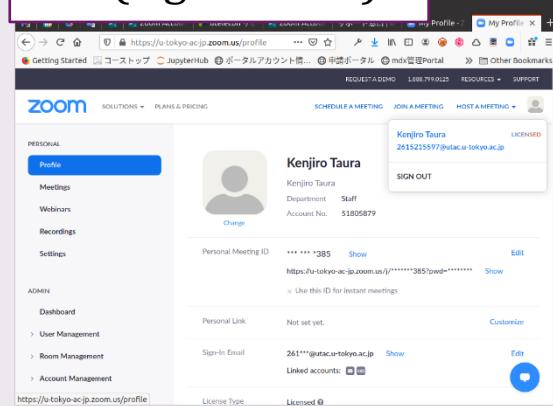
会社ドメインはわからない  
をクリック

B2.



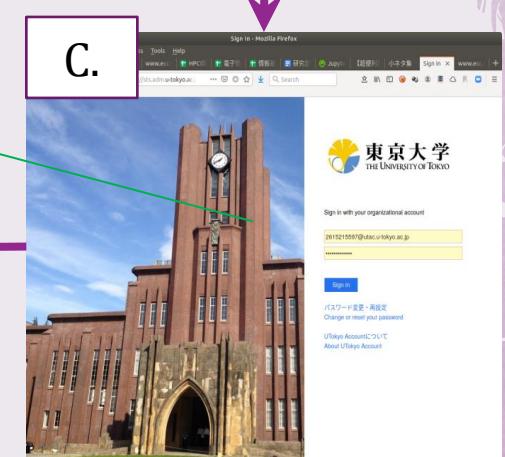
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属機関を明示)

D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

C.



# まとめ

- ◆ 方法1でURLをbookmarkしておくがお勧め
  - ◆ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>
- ◆ 変な所へ連れ込まれた時のため以下を覚えておくとよい
  - ◆ (方法2) 会社のドメイン名 = u-tokyo-ac-jp
  - ◆ (方法3) ユーザ名 = 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

# Zoomに関する重要なアナウンス

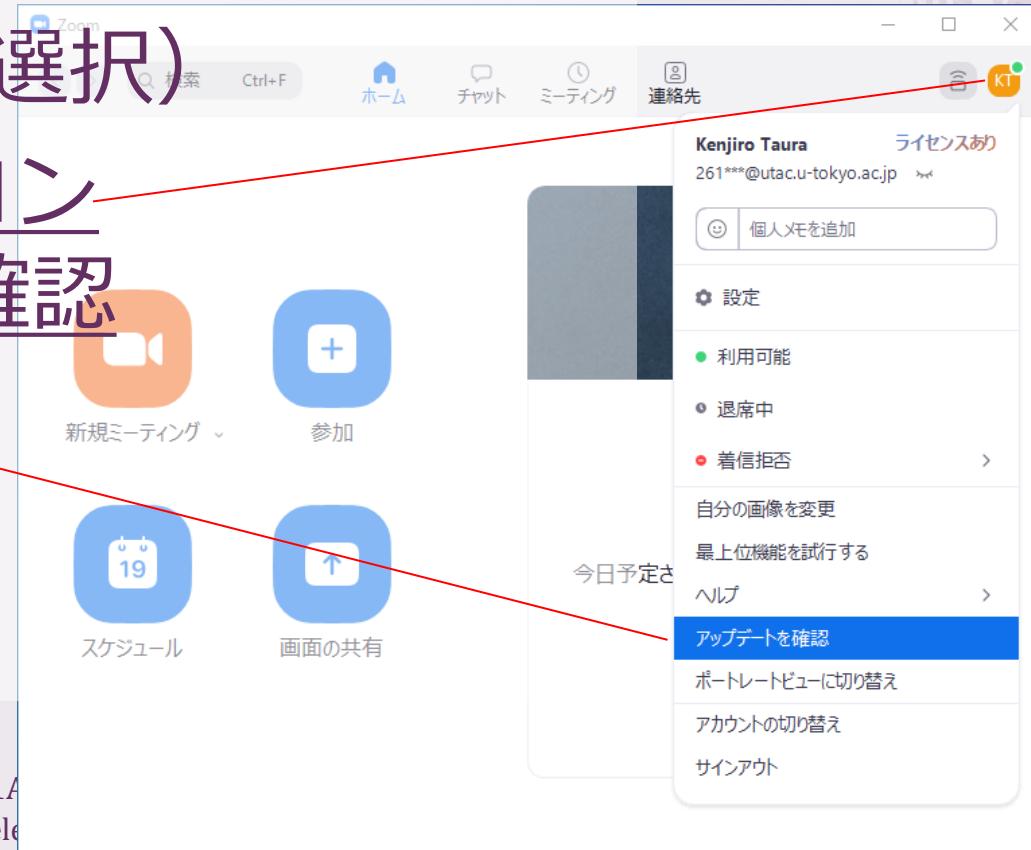
- ◆ 9か月のリリース期間
- ◆ 本学での「正しい」Zoom ユーザ名

# 9か月のリリース期間

- ◆ Zoomのアナウンス
- ◆ 要約：2021/11/1 から
  - ◆ ある程度以上古いZoomクライアントは使えないくなる（接続時に更新を要求される）
  - ◆ ある程度以上古い=最新版リリースより9か月以上経過したもの
  - ◆ 接続時に慌てないようこまめな更新が必要
- ◆ 2021/11/1 の時点ではバージョン5.5以上が必要

# 最新版にする方法

- ◆ Zoomの「アプリ」を立ち上げ
  - ◆ ブラウザでURLクリックではなく、WindowsスタートメニューなどからZoomを立ち上げ
- ◆ サインイン (SSOを選択)
- ◆ 右上の自分のアイコン  
→ アップデートを確認



# 本学におけるZoomの「正しい」 ユーザ名は10桁@utac.. のみ

- ◆ 歴史的な経緯で色々なZoomユーザ名が混在しています
  - ◆ tau@g.ecc.u-tokyo.ac.jp (通称：任意@g.ecc)
  - ◆ 1234567890@g.ecc.u-tokyo.a.jp (通称：10桁@g.ecc)
  - ◆ 1234567890@utac.u-tokyo.ac.jp (通称：10桁@utac)
- ◆ 今後は 10桁@utac のみに整理していきます

# 自分が「正しい」ユーザ名を使っているかわからないのですが...

- ◆ 説明した方法 (SSO) でサインインしてみる
- ◆ Case 1: 普段使っているものである（たとえば予定している授業やミーティングが表示できる）→ done!
- ◆ Case 2: 普段使っているものと違う気がする...
  - ◆ 普段のもの（ミーティングスケジュールや録画など）が特段不要 → done!
  - ◆ 普段のものから内容を引き継ぎたい →  
<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/notice/zoom-address-new>

# Webex





# Webex

## ◆ サインイン

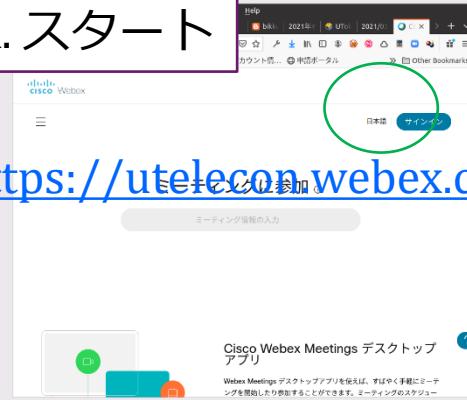
- ◆ <https://utelecon.webex.com/>
- ◆ UTokyo AccountでSSO

## ◆ 機能

- ◆ Webex Meeting (1000人まで) ≈ Zoom Meeting
- ◆ Webex Events (1000人まで) ≈ Zoom Webinar

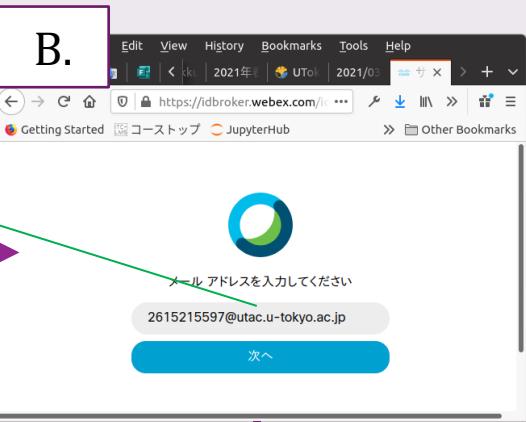
# サインイン: 流れ

A. スタート

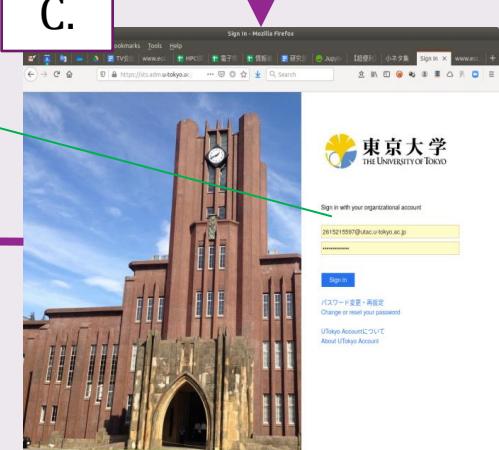


<https://utelecon.webex.com/>

入力: 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属組織を明示)



C.



D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account  
名、パスワード

# Web会議比較

	Zoom	Webex	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300 (*)	1000	100	300
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から使えない	
E2E 暗号化	○(※)	○		
同時に複数参加	○(☆)	○	○	○
待機室	○			○
手上げ	○	○	○	○
投票	○	?		

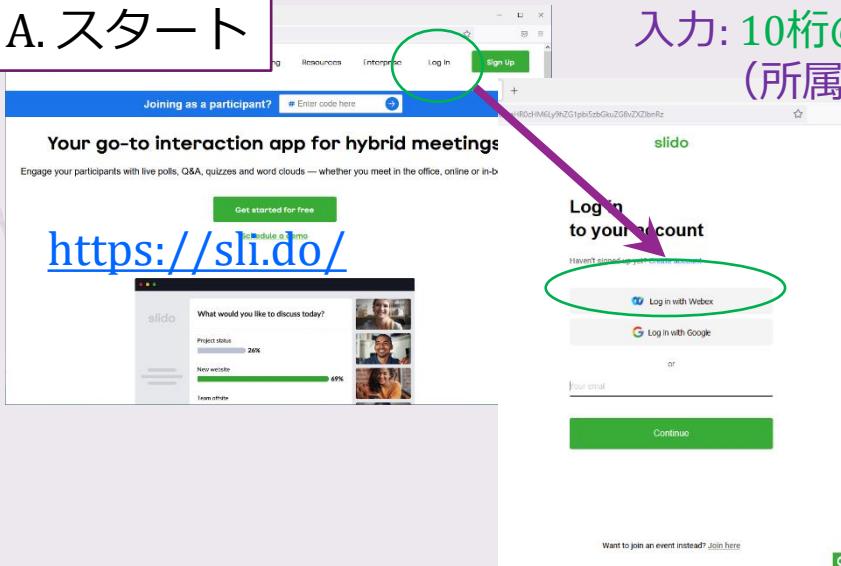
- ◆ (\*) こちらのフォームから申し込んで300を超える会議やウェビナーを開催できますが数に限りがあるので、Webexもお考え下さい
- ◆ (※) 現在有効化されていません。動作確認が済み次第有効化予定
- ◆ (☆) ブラウザで複数参加は従来より可能。デスクトップアプリでも動作確認が済み次第有効化予定（現在有効化されていません）

# sli.do

- ◆ Q&A、アンケートツール
  - ◆ これをしてると学生がよくQをするようになるという噂です
- ◆ このたびUTokyo Accountで有料機能が使えるようになりました ([説明](#))
- ◆ サインイン方法
  - ◆ Log in →  Log in with Webex を選択
  - ◆ あとはWebex同様 (UTokyo Accountを利用)

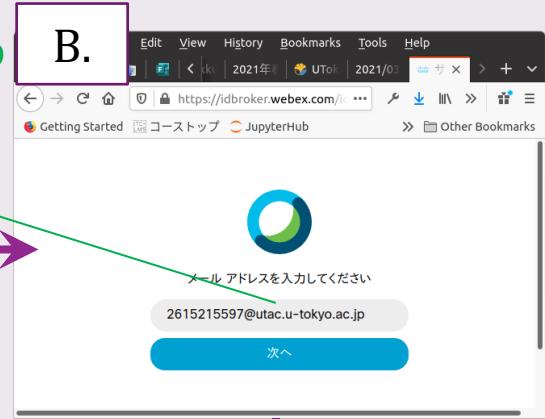
# サインイン方法

A. スタート



入力: 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属組織を明示)

B.

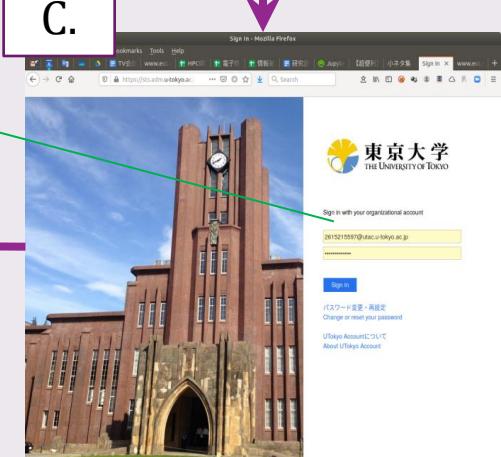


D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

C.



# まとめ

- ◆多くのシステムがUTokyo Accountだけでつかえます
- ◆システムごとに異なる名前やPWが不要
- ◆聞かれたら以下を覚えておくのが○
  - ◆ユーザ名：[10桁@utac.u-tokyo.ac.jp](mailto:10桁@utac.u-tokyo.ac.jp)
  - ◆Zoomドメイン名：u-tokyo-ac-jp

# SSOの処世術

- ◆ 東大以外のMicrosoftアカウント（他組織、個人アカウント）を併用している場合にトラブルが生じがち
- ◆ ブラウザが過去の（別アカウントでの）sign inの情報などを覚えていることで生ずることが多い
- ◆ 「まっさらなブラウザ」で試すことで逃れる・解決の糸口になることが多い

# まっさらなブラウザ

- ◆ 方法1: プライベートモード・シークレットモード・incognitoモードで新しいウィンドウを開く
- ◆ 方法2: 新しい「プロファイル」を作成して開く